



南関町 こどもまんなか計画

（第三期南関町子ども・子育て支援事業計画）

（令和7年度～令和11年度）

概要版



令和7年3月
南関町

1 こどものための法律について

こどもや若者のみなさんは、一人一人がとても大切な存在です。

みなさんが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていくことがとても重要です。

「こども基本法」とは、こうした社会を目指してこどもや若者に関する取組を進めていく上で基本になることを決めた法律です。

「こども基本法」には、6つの大切な考え方があります。

- ① すべてのこどもが大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと
- ② すべてのこどもが大事に育てられ、生活が守られ、愛され、保護される権利が守られ、平等に教育を受けられること
- ③ すべてのこどもが、年齢や成長の程度に合わせて、自分に直接関係することに意見を言えたり、さまざまな活動に参加できること
- ④ すべてのこどもの意見が年齢や成長の程度に合わせて、大事にされ、こどもの今とこれからにとって最もよいことが優先して考えられること
- ⑤ 子育てをしている家庭のサポートが十分に行われること、家庭で育つのが難しいこどもに家庭と同じような環境が用意されること
- ⑥ 家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会をつくること

2 南関町こどもまんなか計画について

南関町に住むすべてのこども・若者、保護者が安心して暮らせるための計画です。

「こども基本法」が目指す社会をつくるために、南関町が取り組むことを書いています。

こども・若者、保護者のための取組は、町役場だけでなく、地域の人や団体等とも、一緒に進めていきます



③ 南関町について



南関町の人数や、産まれてくるこどもに関することを調べました。また、こども・若者等^{わかものどう}に意見を聞きました。

● 人口

総人口^{そうじんこう}は減少傾向^{げんしょうけいこう}にあり、令和6（2024）年には8,782人となっています。
高齢者^{こうれいしゃ}が占める割合^{わりあい}は増えていて、少子高齢化^{しょうしこうれいか}が進んでいます。

● 世帯

世帯数^{およ}及び1世帯^{げんしょうけいこう}あたりの人員数は減少傾向^{かくなぞくか}にあり、核家族化^{かくかぞくか}が進行しています。
ひとり親^{どうかけいこう}の世帯数は増加傾向^{げんしょう}にあります。

● 母親の年齢とこどもの出生数

こどもの出生数^{ねんれい}は年々減少しています。

● 働く女性

南関町^{じよせい}の女性^{ねんれいそう}で、働いている人の割合^{わりあい}は、ほとんどの年齢層^ふで増えています。



南関町在住^{ざいじゅう}の12～39歳^{さい}にアンケート調査^{ちようさ}を実施^{じっし}しました。

● 南関町にこれからも住んでいたいと思うかについて

「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた『南関町に住み続けたい』は47.7%で、「どちらかといえば住みたくない」と「住みたくない」を合わせた『南関町に住みたくない』は21.5%でした。

● どのような場所であれば居場所^{いばしょ}になると思うかについて

「いつでも行きたいときに行ける」が69.5%、「好きなことをして自由^すに過ごせる」が60.5%、そして「長い時間いられる」が57.5%でした。

● 普段^{ふだん}の生活の中で、どのようなことに意見や関心を持つことが多いかについて

「生活費^{せいかつひ}」が45.5%、「音楽や映像^{えいぞう}（コンサート、映画^{えいが}、テレビ、インターネット動画など）」が39.1%、そして「自分の将来^{しょうらい}」が35.2%でした。



○ 南関町のまちづくりに関し、どのような分野に意見や関心を持つことが多いかについて

「子育て環境^{かんきよう}や子育て支援^{しえん}」が43.8%、「少子化^{じんこうげんしょう}や人口減少^{じんこうげんしょう}」が36.9%、そして「道路や交通機関^{せうひ}の整備」が21.5%でした。

○ 意見を伝える方法^{ほうほう}として、どのような方法^{ほうほう}が良いと思うかについて

「Web アンケートに答える」が38.2%、「LINE などのチャット」が36.9%、そして「アンケート（紙）に答える」が29.6%でした。

○ こどもや若者^{わかもの}にとって希望^{わがまま}が持てる南関町となるために、南関町として、特に取り組むべきことは何だと思うかについて

「若者^{わかもの}たちが自主的に活動できる場所や機会^{じゅうじつ}の充実^{じゅうじつ}」が39.5%と最も高く、「年齢^{ねんれい}や経済的^{けいざいてき}な心配^{しんぱい}をすることなく、学習・学び直し^{がくしん・がくび直し}ができる環境^{かんきよう}・機会^{じゅうじつ}の充実^{じゅうじつ}」が38.2%、「就労^{しゅうろう}（仕事につくこと）に向けた相談^{たいせい}やサポート体制^{じゅうじつ}の充実^{じゅうじつ}」が36.5%と続いています。

直接こども・若者に会って、 意見を聞きました。

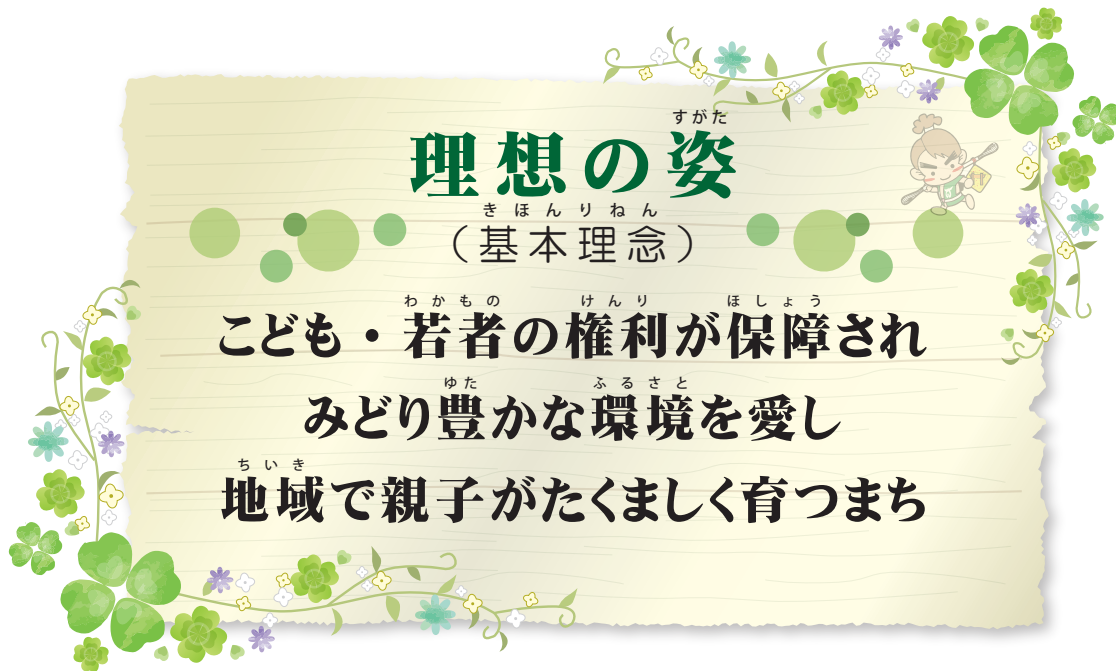
主 な 意 見

- ◆挨拶^{あいさつ}ができる大人になりたい、挨拶^{あいさつ}をしない人にはなりたくない
- ◆公共のマナーを守れる大人になりたい
- ◆南関町は、温かい人が多く、自然^{ゆた}が豊かである
- ◆他校と交流する機会^ふを増やしたい
- ◆学校の中に、学習ルームのような勉強^{しせつ}ができる場所がほしい
- ◆休みの日に近くで過ごすことができる施設^{しせつ}がほしい
- ◆現状^{げんじょう}よりも交通が便利であると良い
- ◆カーブミラー^{せっち}を設置する等、通学路^{あんぜんせい}の安全性を高めてほしい
- ◆安全にゆっくりと帰れるよう、暗い箇所^{かしよ}には街灯^{せっち}を設置してほしい



4 南関町こどもまんなか計画で目指すことについて

南関町は、すべてのこども・若者が、大切にされ、自分らしく活躍していただけることや、こどもを産みたい、育てたいと考える人の願いが叶うような、こども・若者と保護者が幸せになるような社会となるよう、次のような理想の姿を目指します。



5 今後の南関町の取組について

南関町こどもまんなか計画では、次の6つのことを大切にします。

(1) すべてのこども・若者が幸せに暮らし、成長できるようにする

すべてのこども・若者が、大切にされている実感を持って、「確かな生きる力」を身に付け、幸せに暮らしながら、成長し自立していただける環境づくりを進めます。

(2) 家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できるようにする

家庭や子育てに夢を持ち、男女ともに子育てと社会参画を両立しながら、子育てに魅力や喜び、楽しみを感じ、安心してこどもを産み育てられる環境づくりを進めます。

(3) こども・若者、子育て当事者を支援する人が笑顔で接することができるようにする

こども・若者、子育て当事者を支援する人を支援することで、笑顔で接することができるようにします。



(4) こども・若者、子育て当事者のライフステージに応じた切れ目のない支援を実施する

こども・若者の状況に応じて必要な支援が特定の年齢で途切れることなく行われ、円滑な社会生活が送れるようになるまで、こども・若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援していきます。

(5) 関係機関と連携し、社会全体の気運醸成を行う

国、県、子育て当事者、教育・保育等を行う者及び住民と連携協力して、子育て支援等に取り組む体制を整備し、必要な支援を行います。

(6) 住民とともに未来を創る

こども・若者、子育て当事者・関係者の視点に立って、なかなか声を上げられない人、弱き声、もしくは小さき声も含め、しっかり耳を傾け、住民とともに未来を創っていけるよう努めます。

南関町は、次のような取組に、特に力を入れていきます。

① こども・若者のみなさんの意見を聞きます

- 役場内や各学校等のこどもが利用する施設に、意見箱を設置します。また、オンラインでもこども・若者から意見を聴取できるようにしていきます。
- こどもが本町に対して持つ意見や要望を聞くことで、こども・若者が社会に参加できるよう支援します。
- こども・若者からの意見は、庁内で検討し、今後のこどもに関する取組等に活用していきます。
- 集めた意見を南関町の取組に反映できるような体制づくりを検討します。

② みなさんのお悩み等を聞き、支援します

- 「こども家庭センター」が中心となって支援します。
- すべての妊婦、子育てしている家庭、そしてこども・若者に対し、出産前から子育ての時期に切れ目なく支援します。
- こども・若者本人からの相談や児童虐待等、幅広い相談に対応して支援していきます。



③ 不登校の人を支援します

- 南関町の不登校児童生徒の数は、増えています。一人一人に寄り添いながら問題を解決していく必要があります。
- 不登校の初期段階から、「愛の1・2・3運動+1」を学校で実施し保護者と連携しています。
- 不登校対策会議にて、学校、行政、スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）等が連携しながら原因解明と適切な支援を協議し、家庭訪問等を実施し改善を図ります。
- 不登校児童生徒の居場所として、中学校内に「教育支援センター」を設置し、不登校児童生徒の学校復帰を目指し、学習指導や教育相談等のきめ細やかな支援を行っています。また、教育支援センターに通えない児童生徒は、フリースクール等の民間施設の利用という選択肢もあります。家から出られない児童生徒に対しては、ICTを利用した遠隔教育等の支援も行います。
- 不登校の問題で重要なことは、「学校に通わせる」ことが目的でなく、「こどもたちの将来的な社会自立」ということを認識することで、家庭、学校、行政、SC等の専門職等と連携を強化し、きめ細やかな個別支援を行います。
- 学校外に不登校児童生徒が安心して学習ができ他者と交流する場（施設等）を設けることができるように努めていきます。

④ 特別な配慮を必要とする人を支援します

- こどもの希望に応じた適切な支援を行うことが必要です。
- 保護者に十分な情報を提供して、保育所、認定こども園、そして小学校等において、関係者が教育や療育等の必要な支援について共通理解を深めることが重要です。
- 保育士等の知識と技術を向上させて、支援の体制や環境を整備します。
- 小学校をはじめ関係機関と連携し、保護者とも情報を共有して、同じような指導ができるようにしていきます。
- 特別な配慮を必要とする児童の保護者に対し、「ペアレントトレーニング」（年間6回研修）を実施しています。また、一人一人の特性に関する相談や同じ悩みの保護者との交流の場として、「茶話会」も実施しています。
- 発達に特性があるこどもに対して、療育が必要な場合は障害福祉サービスの提供を行います。また、保育所等や学校等、集団生活の場での社会性を身に付けるため、分け隔てのない保育・教育が重要です。それと併せて、保護者が家庭内でこどもとの関わり方を学んで実践してもらうことも大切です。



ほいくしょうとう

しえん

⑤ 保育園等を利用したい人を支援します

- 保育所等の保育士が足りなくて待機児童が発生する場合があるので、保育士を確保していくことは南関町の重要な課題の一つです。
- 保育士不足について、専門的な学校を卒業したての保育士が、南関町の保育園等に就職した際にはお祝い金を補助します（ただし3年間勤務することが条件です）。
- 保育士が再就職した場合、保育士再就職お祝い金を補助します（ただし3年間勤務することが条件です）。
- 保育士の仕事に敬意をはらい「保育士に優しい南関町」とすることが、保育士確保になり、保育士等に働く場として南関町の保育園等を選んでいただけるよう推進します。



許可番号第 24-20

南関町こどもまんなか計画

（令和7年度～令和11年度）

令和7年3月

発行 / 南関町役場 福祉課

〒861-0898 熊本県玉名郡南関町大字関町 64

TEL : (0968) 57-8503（直通） FAX : (0968) 53-2351

